

皆さまの要望を行政に訴え、改善することが議員である私の職責です。

任期がスタートしてから、初めての一般質問を9月に行いました。一般質問は市民の暮らしの中で起こる問題について、市民の代表である市議会議員が質問を行い、市長など重役級が揃う議場で改善を約束させる重要な行為です。

西宮市民は市議会議員や市長を選挙で選び、市政の運営を委ねます。市政を執行する市長に対し、市民の代表である議員が市政全般について質問を行うことを一般質問といいます。

一般質問は本会議でのみ行います。本会議とは行政と議会が開催期間を設けて招集され、その期間中に議案の審査や調査などを行う重要な会議で、3月・6月・9月・12月の年に4回開催します。

本会議では下部組織として委員会を設けます。市の事務は広範囲でかつ専門化している為、効率的・専門的に調査・審査を行うことが委員会の役割となります。現在は総務・民生・健康福祉・教育こども・建設の5つの常任委員会に分かれており、議長を除いた議員はいずれかの委員会に所属します。他にも議会運営について審議を行う議会運営委員会や、討議が必要な案件を専門的に扱う特別委員会があります。

専門的に審査を行う委員会とは異なり、市議会議員が市政の運営に対して、幅広く問題を取り上げて質問ができるのも一般質問の特徴です。↗



問題の改善を図る政策提案や、予算によって問題解決を図る予算要望など、一般質問では問題の解決に必要な意見・要望をします。意見・要望の多くは市民の税金に関連することから、必要な情報の収集や、他市の事例について研究を行うなど、適切かつ効果的であることが求められます。議員の質問に対して、市長を初めとする市の重役級が改善を約束すること、そして議事録に残すことが一般質問における重要な役割です。

私は一般質問の重さを感じながら、日々皆さんの暮らしに貢献できるよう取り組みを行っています。

市民の皆さんは仕事や家事、育児などで忙しい日々をお過ごしのことと思います。市政に関心があっても、行政や議会の取り組みについて知ることは難しいと思います。市政報告チラシを作成し、地域の1軒1軒のお宅や通勤・通学前の皆さんに配布を行うことで、普段の取り組みをお伝えすることも、政治家としての私の大事な職責だと考えます。

今後も頑張って参りますので、読んでいただけたら幸いです。



市政報告 No.1
2015年10月
無所属 保守系 蒼士会

街の声を大切に作る身近な政治家を目指して

西宮市議会議員 ひとし
はまぐち仁士

苦楽園で生まれ育った2児の父親。皆さんの目線で街の声を市政に届けます

私は平成27年の統一地方選挙で市民の皆さんからご信託をいただき、西宮市議会議員に初当選致しました。そして本年9月に初の一般質問を行い、皆さんにご報告させて頂くために初めて市政報告チラシを発行しました。今後は年4回定期的に作成し、地域の地域1軒1軒の郵便受けや、通勤・通学途中の皆さんにお配りさせていただきます。こどもを持つ保護者の皆さん、高齢者の皆さん、社会人や学生の皆さんにとって身近な政治家を目指し、西宮市の課題に取り組んで参ります。どんな小さな問題でもご相談ください。地域の活動にも積極的に参加したいと考えております。私を育ててくれた地域のために、これからも精一杯がんばります。



<プロフィール>

1972年6月西宮生まれ。既婚、2児の父。市立大社幼稚園、市立苦楽園小学校、市立苦楽園中学校、兵庫県立西宮甲山高等学校卒業。神戸ベイシェラトンのオープニングスタッフ等を経て1998年に松原町にて「Cafe&Bar savro(三郎)」、2000年に西宮浜にて「Trattoria & Cafe COMODO」をオープン。2014年西宮市長選挙でスタッフとして活動後、政治家私設秘書に就任。2014年9月末で秘書業務とすべての店舗を撤退して政治活動を開始。2015年4月に行われた西宮市議会議員選挙にて1983名からのご信託を頂き初当選。

TEL:090-8167-8136

Mail:h.hamaguchi0602@gmail.com

f <http://goo.gl/pEHp1>

HP <http://h-hamaguchi.sakura.ne.jp/wordpress/>

発行者：西宮市議会議員 はまぐち仁士

はまぐち仁士

検索



【表紙デザイン】 <タイトル>『秋の西宮』

<制作>宮崎ひかり：1988年生まれ、兵庫在住。見た人が一瞬「？」となるような遊び心のある世界を描きます。書籍装画のお仕事を中心にフリーイラストレーターとして活動中。

<コメント>にぎやかな大阪とおしゃれな神戸の間にあるのどかな町、西宮。私にとってその象徴が、大阪と神戸を繋ぐ阪急神戸線のちょうど中ごろからびよんとび出た甲陽園線。そんなローカルな沿線を利用する人々の暮らしを描いてみました。

公式HP『loftwork.com—宮崎 ひかり's Portfolio』は「宮崎ひかり」で検索。

*表紙デザインは西宮市の文化振興を目的に、西宮ゆかりのアーティストが絵を描いています。

安全に自転車走行できる環境の整備を!

西宮市では交通事故全体の件数は減っています。しかし歩道での自転車関連事故は減っていません。その主な原因の1つとして、自転車が走行ルールを守らないことがあります。

これは全国的な傾向であり、こうした状況を改善する為、本年6月に道路交通法が改正されました。これによって「自転車は車道を守る」というルールが徹底されることになりました。しかし多くの自転車は未だ歩道を走行しています。多くの自転車利用者が正しい走行ルールを知らないこと、車道の走行を危ないと感じていることが、主な原因であると思われます。

歩道での自転車関連事故を減らすためには2つの方法が重要です。1つ目は幅広い年齢層を対象に交通安全指導や、マナーの啓発活動を行うことです。市はこうした取り組みを徹底して行わなければなりません。

2つ目は自転車が安全に走行できるよう道路を整備することです。市は自転車が安全に走行できる環境整備を進めてはいますが、未だ多くの道路で十分な整備がなされていません。市は多くの自転車利用者が、車道を危険だと感じている現状を改善しなければなりません。

一方で、自転車は車両であるとしながら、危険な場合は歩道を走行できるという、曖昧な自転車走行のあり方についても改めるべきです。こうした問題は市だけでは解決できません。私はこの問題について、国・県・市・兵庫県警などが連携して、解決に向けて協議するべきと考えています。

自転車のマナーが向上し、自転車や歩行者が安心して歩道や車道を利用できる道路整備が進められるよう、今後も取り組んで参ります。

<本市における過去3年間の年齢別自転車関係事故発生状況(兵庫警察調査)>

	6歳未満	6~15歳	16~24歳	25~29歳	30~39歳	40~49歳	50~59歳	60~64歳	65歳以上	不明
平成24年 人身事故	1	58	96	38	115	117	103	69	129	24
死者	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0
平成25年 人身事故	1	53	97	37	91	135	101	70	143	47
死者	0	0	0	0	0	0	0	1	2	0
平成26年 人身事故	0	44	89	40	87	116	100	48	133	39
死者	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0



◆安全な自転車走行について 一般質問内容と答弁内容

はまぐち 質疑 自転車の取り締まりが強化されたことを考慮し、道路整備の観点から車道における自転車の安全課題をどのように改善するのでしょうか。今後の対応をお答えください。

西宮市 答弁 本市では幅員の広い道路については歩道内に自転車の通行帯を設けておりますが、幅員の狭い道路全体を抜本的に改築して、自転車の通行帯などを設けることは困難な状況です。県下の他都市も、幅員の狭い道路において、車道を走行する自転車の安全対策を検討しており、自転車の通行ルールを明確化する方策などを検討していると聞いております。今後は国・県や所轄警察署と協議しながら、市内の道路で実施可能な対策を検討してまいります。

はまぐち 質疑 小学校を対象に行っている交通安全指導を実施していない小学校はどれくらいありますか？

西宮市 答弁 平成26年度において、自転車交通安全教室を実施していない小学校は10校ございます。小学生など低年齢者が加害者となった事故も発生していることから、今後は、全ての小学校に対して、自転車安全指導が実施されるよう働きかけていきます。小学生と保護者が一緒に参加する自転車教室の充実を検討するほか、事故が発生した場合の対策として、自転車保険への加入を保護者に促してまいります。

はまぐち 質疑 本市の交通安全指導や自転車ルールの啓発活動を、小学生だけでなく幅広い年齢層に対しても積極的に実施を行うべきだと考えますが、いかがでしょうか？

西宮市 答弁 自転車関連事故の発生状況を踏まえると、ご指摘のとおり、事故件数が多い高齢者などへの啓発活動も推進すべきと考えております。今後は高齢者に対して、老人会や公民館講座などの機会を捉えて、自転車安全教室を行うとともに、現在、市で行っている幼稚園の交通安全教室に保護者の参加を促すなど、幅広い年齢層への啓発活動を拡充してまいります。

はまぐち 質疑 交通安全指導の目的は事故の抑制であり、事故状況を分析する必要があります。その為には具体的な実態の把握を行う必要があり、警察と連携して自転車事故の課題を共有すべきだと考えますが、いかがでしょうか？

西宮市 答弁 現在、市内の交通事故件数は、年間2000件を超えており、全ての交通事故に関して、個々の事故の情報までは把握できておりません。自転車関連事故に関する個別の事故情報の提供を所轄警察署に求めるなど、これまで以上に情報の共有に努めるとともに、国や県、所轄警察署と連携しながら対策を検討してまいります。

公園のポイ捨てがなくなる環境づくりを!

公園には多くのゴミが落ちています。地域の住民の方からこの問題に関してご指摘を受ける機会も多くあります。マナーの悪い利用者のポイ捨て行為が、公園からゴミが無くなる原因の1つだと思われます。

公園にごみが落ちてると、マナーの悪い利用者が同じようにごみをポイ捨てするようになり、公園に多くのごみが散乱します。この状況を放置すれば公園の風紀が乱れ、悪質な犯罪が起こる可能性も否定できません。

一部の公園では住民の皆さんが自主的に清掃活動を行ってくださっています。これには、ごみを拾い公園を綺麗にすることが、ポイ捨てをしにくい公園環境を作ることにつながっている側面もあると言えます。

公園では、ごみ箱の周辺だけに、ごみが散乱しているという状況も多く見かけます。こうした事例をみると、利用者のために設置されたごみ箱が、かえって公園の環境を悪くしているようにも感じます。こうしたごみ箱の管理費用として、年間3,700万円の費用が掛かっています。

他市においては公園のごみ箱を撤去した結果、ポイ捨てが解消された事例も存在します。ごみ箱に掛かる管理費を減らし、その分を地域活動などに活用する方が、より良い地域づくりに貢献することも考えられます。私は地域の皆さまの同意を得ることを前提に、ごみ箱の撤去も検討するべきだと考えます。

今後は地域の清掃活動に参加させていただきながら、公園からポイ捨てがなくなる環境づくりに取り組んで参ります。



◆公園のごみ箱について 一般質問内容と答弁内容

はまぐち 質疑 公園には生活ゴミやコンビニで購入された後のゴミなど、さまざまなゴミが持ち込まれています。市はこのような現状を把握しているのでしょうか。把握しているのであれば、こうした現状について、どのような認識を持っているのでしょうか。

西宮市 答弁 市は公園の巡回時や通報時の点検等により、一部の公園で、ごみ箱に生活ゴミなどが捨てられている現状を把握しております。これらの行為は、公園利用者や周辺住民にとって、大変迷惑な行為であるため、市としても対応に苦慮しているところでございます。

はまぐち 質疑 公園では様々なゴミが分別されることもなく廃棄されています。こうした現状は、ごみ減量等推進員制度でごみの分別や排出抑制を推進していることや、「チャレンジにのみや25」で子どもたちに「ごみの減量で重要なことは分別を行うこと」と指導していることに対して矛盾します。こうした現状について、市はどのような認識を持っているのでしょうか。

西宮市 答弁 公園のごみ箱は、ごみの分別に対応できておらず、分別用のごみ箱を設置するには、多大な費用がかかります。現在のごみ箱のまま、分別回収を実施するにも、収集費用が増加するなど、分別回収への対応は、困難な状況でございます。

はまぐち 質疑 過去5年間で、市内46箇所75基の公園に設置されたごみ箱が撤去されております。これは生活ごみの廃棄等が原因となり、地域の要望で撤去されたものであると認識しておりますが、この認識は正しいでしょうか。正しいのであれば、地域、あるいは市民から公園内のごみ箱撤去について要望があった場合、市は積極的に対応していく方針であると理解して良いでしょうか？

西宮市 答弁 ご指摘のように、現在の公園のごみ箱は生活ゴミが捨てられていることや、分別回収が困難であるなどの問題があることから、将来的には、撤去していく方向で考えております。このため、今後、既に生活ゴミが持ち込まれて、問題が発生しているような公園から、順次、地域の皆様と相談しながら、ごみ箱の撤去を進めてまいります。